



ホッピーだより

No. 415

2019年6月1日発行

むかわ町穂別博物館

〒054-0211 北海道勇払郡むかわ町穂別 80-6

Tel 0145-45-3141

ホームページ <http://www.town.mukawa.lg.jp/1908.htm>ブログ <http://pomu.town.mukawa.lg.jp/1086.htm>

アンモナイトの巨大顎器発見・寄贈

2019年4月発表の研究論文で報告



発見・寄贈されたアンモナイトの下顎

発見された顎器と
40cmのゴードリセラス殻

アンモナイトは殻だけでなく顎器（イカ・タコではカラストーンビ）も化石として残ることが知られています。

日高町から産出した白亜紀カンパニアン期の巨大な顎器は、アンモナイトのフィロセラス亜目もしくはリトセララス亜目のもので、その大きさから殻直径が約40cmの個体の下顎であることが分かりました。この地域・時代から産出するアンモナイトから考えると、これはリトセララス亜目のゴードリセラス *Gaudryceras* という種類のアンモナイトの顎器であると推測されました。これらの研究成果が棚部一成東京大学名誉教授らによって国際学術誌で発表されました*。研究された化石は、採集者の伊豆倉正隆氏（札幌市）から穂別博物館に寄贈されました。

このアンモナイト顎器は今のところ世界最大級のものですが、世界最大のアンモナイト殻直径は約2mで、穂別からも殻直径1mのものがみついています。このことから考えるとさらに巨大な顎器が見つかることが期待されます。

*掲載論文：棚部一成ほか、2019英：Taxonomic relationships and paleoecological significance of two exceptionally large lower jaws of Late Cretaceous ammonoids from Japan. *Paleontological Research*, vol. 23, no. 2, pp. 1-14.

学芸員 西村智弘

2018年度の寄贈資料

- 2018-001 アンモナイトほか含有ノジュール（150個）堀田良幸様（むかわ町穂別）
- 2018-005 アンモナイトほか含有ノジュール（238）中村絵理子様（むかわ町穂別）
- 2018-006 アンモナイトほか（76）伊豆倉正隆様（札幌市）
- 2018-007 アンモナイト *Mariella* sp.（1）河野忠男様（札幌市）
- 2018-008 大型アンモナイト (*Pachydesmoceras*)（1）林敬晴様（苫小牧市）
- 2018-009 新生代脊椎動物化石（クジラ?）（1）佐藤豊様（むかわ町穂別）
- 2018-010～012 大型アンモナイト（3）西村智弘様（むかわ町穂別）
- 2018-013 アンモナイト *Eupachydiscus teshioensis*（1）十津守宏様（四日市市）
- 2018-014 アンモナイト *Anisoceras* sp.（1）堀田良幸様（むかわ町穂別）
- 2018-015 アンモナイトほか（3）山岡利汎様（むかわ町穂別）
- 2018-016 アンモナイトほか（3）有限会社ササキ産業様（むかわ町穂別）
- 2018-017 アンモナイトほか化石（212）・タガネ等（139）高橋博志様（むかわ町穂別）
- 2018-018 アンモナイト (*Takahashiceras*)（1）林敬晴様（苫小牧市）
- 2018-019 アンモナイト (*Sharpeiceras, Pachydesmoceras, Yubariceras*)（3）
窪田英様・窪田勝子様（札幌市）
- 2018-020 脊椎動物化石（1）遠藤大騎様（浦河町）
- 2018-021 隕石（2）・アンモナイトレプリカ（1）穂別地球体験館【移管】

貴重な資料を寄贈していただき、ありがとうございます。

むかわ町穂別博物館の古生物が 「恐竜博 2019」 国立科学博物館に大集合



むかわ竜全身骨格（実物化石）



フォスフォロサウルス
全身復元骨格（レプリカ）



ホベツアラキリュウ
全身復元骨格（レプリカ）
穂別博物館ホール展示とは別のもの



むかわ竜全身復元骨格（レプリカ）



フォスフォロサウルス（実物化石）



ティラノサウルス「スコッティ」
全身復元骨格（レプリカ）
© The Royal Saskatchewan Museum

国立科学博物館（東京、上野公園）で開催される「恐竜博 2019（7/13-10/14）」で穂別博物館収蔵の化石・全身復元骨格（レプリカ）が複数展示されます（写真で示したものなど）。むかわ竜は恐竜博 2019 の 2 大メイン恐竜の一つとして扱われます。展示の第 4 章「むかわ竜の世界」では、むかわ竜以外にホベツアラキリュウとフォスフォロサウルスの化石・全身復元骨格が展示されます。ホベツアラキリュウ発見後の 1982 年から博物館に学芸員を配置し、調査・研究を進めてきた（旧）穂別町・むかわ町の活動成果の一端を東京で見られる数少ない機会となります。

2017 年に穂別博物館の仲間入りをした（普段は収蔵庫で眠らされている）ティラノサウルス「スコッティ」も同会場で公開されます。

復興イベント・恐竜博 2019 壮行会 令和念むかわ竜完全版大公開

むかわ竜全身骨格（実物化石）を期間限定で公開します。

6/29（土）・6/30（日）10:00～17:00

むかわ町四季の館 入場無料



むかわ竜をモデルにした 絵本が出版

発行：アリス館

定価：1,500 円 + 税



むかわ町穂別博物館

開館時間 9:30～17:00
（最終入館 16:30）

観覧料	大人	小学生～高校生
個人	300 円	100 円
団体 (10名様以上)	200 円	50 円

小学生未満：無料

むかわ町の小学生～高校生：無料

2019 年 6 月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

2019 年 7 月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

休館日 町民無料観覧日